

郷理事長挨拶



郷理事長

皆さんおはようございます。そして、設立10周年おめでとうございます。本日はご多忙の中、神戸市長の矢田様をはじめ多くのご来賓の皆様にご出席いただきまして誠に有難うございます。

この10年間にわたって、多くの市の関係者の皆様のご尽力をはじめ、会員の皆様の神戸市内各地域での活躍によりまして、ここに10周年記念式典を挙行できますことは感謝の念一杯でございます。

現在もこうべ環境未来館の管理運営をはじめ数々のイベントや支援活動が活発に行われ、喜ばしいかぎりです。

さて、物質的豊かさを求めすぎて、自己中心的な競争社会になってしまった、今の日本がこのまま進んでいった良いのでしょうか？昔では考えられないような犯罪が増えております。人として生きるほんとの豊かさ、心の豊かさが忘れられているのではないのでしょうか。そして数十年後には、地球温暖化・異常気象による食糧難がくと予想されています。そのとき物不足の中でも自己中心的にならず、互いに助け合い、心温まるような社会が望まれます。また、物を大切に使い、無駄にしない、もったいないという心で生活することも必要になるでしょう。自分さえ良ければよいというエゴの心を捨て、周りのすべてを愛し、地球を愛して生活しなければならぬ時

代がすぐそこにやってきていることを、若い人達に知ってほしいのです。昔ながらの日本の心と、助け合いの社会を知っている私たちの世代が、若い人達にこれらのことを伝えなければなりません。

教育の道は、「家庭の教えで芽を出し」、「学校の教えで花が咲き」、「世間の教えで実がなる」といいます。グループわの実践活動の中で、この「世間の教え」として、子供たちに、心の豊かさ、思いやりの心、もったいないの心、地球を愛する心を伝えてゆこうではありませんか！

そのためにもまず、私たち自身が「老いの品格」を持って、「シャキッと生きる」ことが大切ではないでしょうか。子どもは親のうしろ姿を見て育つといいますが、まさに私たち自身もうしろ姿を見せているのです。このうしろ姿も品格のあるものにしなければなりません。公共の場で迷惑になるようなことは慎もうではありませんか。

このたび10周年記念事業の標語募集の最優秀作品に「とどけたいあなたのもとへ わの愛を」が選ばれました。今後の10年間も、グループわの活動を継続発展させるために、「とどけたいあなたのもとへ わの愛を」これをモットーに活動し、市民の皆様から感謝され、会員一人ひとりにとって人生の活力となりますことを切に願っております。

最後に青春の心に満ち溢れた熟年の人々が、このシルバーカレッジの丘から沸き立つように、神戸市内に巣立っていき、地域活動に参画されることを祈念します。



標語入選最優秀作品表彰

矢田神戸市長祝辞

1989年、しあわせの村が開村し1993年、その村内にシルバーカレッジが開学しました。その段階からボランティア活動をやっているという兆しが出てきて、それを形あるものとしてこのわのグループが作られました。2004年4月に、NPO法人化され、現在のような活動を次々に取組んで頂いているところでございます。

しあわせの村ができたのは、まさにまだ日本の国が高度経済成長で非常に豊かさを誇っておった時期でございました。近い将来必ず高齢者社会がやってくる、そしてまた、様々の地域でそういった方々との出会いを深めて行くためにも、まさにノーマライゼーションの施設が必要だということで、この村が完成したわけです。

この日本では例を見ないこう言った規模の施設ができたのはこれからの21世紀の超少子高齢社会を見据えてのことでございます。超少子高齢社会の中でこれから大きな課題となってくるであろう様々な状況に対して、神戸市では様々な分野で、きめの細かい取り組みをやっていかなければと思っているところでございます。

このグループわの事業ひとつ取り上げましても、本当に幅広くいろんな活動に取り組んで頂いておりますが、今後更に活動を増やしてやっていこうということで今学校支援活動にも取り組んで頂いているところでございます。この学校支援は、最近発達障害の子どもたちが増えておまして、この発達障害児をクラスの中で支援して行く事がなければ、中々全校の授業がうまく行かない状況でございます。発達障害児を実際のクラス運営の中で皆様方に支えを頂けることが、クラス運営ひいては、学校教育に大きく貢献をして頂いていることとなります。(次のページに続く)